



アルル「はじめまして、みきちゃん。」
みき「あなたはだあれ？どうして私の名前知っているの？」
アルル「私は、アルル。みきちゃんの中から時計がしっかり動
くために会いに来たの」
みきちゃんは、なにがなんだかわからず、体もふわふわ
したままでした。